

市街地区で 町政懇談会を 開催しました



昨年11月14日に中央公民館で開催した町政懇談会のご意見、ご要望の一部(要旨)をご紹介します。

◆印は参加者の発言内容
▼印は町長はじめ、町の発言内容です。

(子ども発達支援センター「にじいろ」について)

◆お金をかけて建設しなくても、これから児童の人数が減っていくので、小学校でできるのではないのでしょうか。

▼当初はそのような考えを持っていましたが、療育と学校現場ではそぐわない部分があります。また、子どもの数は減っていますが、にじいろを利用する子どもの割合は横ばいの状態ですので、建設する決断に至りました。

◆発達障がいがある子どもが大人になって一般社会に入ると、かわいそうなくらい閉鎖的になり、いじめに遭うという感じになります。一般社会の仕組みを学ぶには、同じ学級で友達を作って一緒に生活していくほうが自然にわかるのではないのでしょうか。

▼日中は学校で他の児童生徒と一緒にいますし、学校が終わった後、にじいろに来てもらい、個別の訓練や集団の中で生活するための療育を行っています。また、同じ場所であるといじめに繋がる恐れがあるため、別々にした方がよいという現場の意見等もあり、このような決断に至りました。

◆にじいろの建替期間中はどこで活動するのですか。

▼今の駐車場部分に新たな建物を建て、その後、今の建物を解体する予定です。車は役場の駐車場を利用します。

(中央公民館について)

◆サークルのメンバーに80歳を超える方がおり、町民芸術祭等で舞台発表を行う際、舞台裏の階段に手すりが無く、周りで腕を抱えたりして何とか出入りしている状況です。手すりを付けることはできないでしょうか。

▼状況を確認して検討したいと思います。

◆2ヶ月程前にフリーWiFiが設置され利用できるようになったが、戸を開めると第1研修室や3階では利用できません。全館で利用できるようにしてほしいです。

▼今年は予算の範囲内で工事を実施しました。貴重なご意見をいただきましたので、今後検討していきます。

◆児童会館側の出入口のドアを自動ドアにできないでしょうか。

▼自動ドアは難しいが、ドアを軽くする方法があるようなので調べて検討します。

(観光について)

◆夏期間に観光客が集まるイベントを開催してほしいです。かつては日本一の漁獲量ということで、甘えびをメインとした甘えびまつりを民間の実行委員会で開催してきましたが、最近は甘えびの漁獲量が非常に落ち込み、実施できていない状況が続いています。今年は夏まつり、秋まつり、バラフェスティバルを開催しましたが、観光協会とも相談しながら、町外から大勢の観光客が見込めるイベントを現在模索しています。また、天売・焼尻については、現在のネット社会に対応したWeb広告をイベント会社と検討しており、春までに実施して来年度の観光誘客に努めたいと思います。



◆夏まつり、秋まつりの内容はほとんど同じでした。バラフェスティバルは子どもたちは寂しが、食べるお店が少なく寂しかったです。何か人を集めるのもう少し変化があるものを期待します。

▼来年度に向け反省点を集約し、関係団体とも相談しながら改善していきたいと思えます。

◆サンセットビーチハウスがかなり古くなっています。この先どのように考えていますか。

▼今のところ支障が出ておらず、利用者からも意見が上がっていません。その都度確認し、改修を検討していきたいと思えます。

◆ホテル最上階の見晴らしが良いところに観光案内所があります。観光案内所は1階に設置するものであり、観光客はわざわざ上まで訪れないと思います。夕日が一番見えるとか、眺めが良いところをもつてPRして、昔のようにあそびでゆつくりお茶を飲んだりできるような場所に変わっていただきたいと思えます。



▼今の声を指定管理者に届け、相談しながらなるべくそうできるように検討します。

(ハートタウンはぼろについて)
◆衣料品店が閉店したことにより、羽幌町や近隣の町村で衣食住の衣の部分に困る方が大勢いると思えます。テナントを誘致する等、町ではどのように考えていますか。

▼現在業者と交渉しており回答待ちの状況です。もう少し待っていただければと思えます。

(商店街の街灯について)

◆設置されてから25年以上が過ぎ老朽化が進んでいます。このまま放っておくと大変費用がかかるかと心配しています。

それぞれ地区で状態が違うため、こちらの商店街だけでも取り掛かろうと思いましたが、国道沿いに設置されているため簡単にはできないそうで、中々業者さんも引き受けていたくない状態が5〜6年続いています。何とか知恵をお借りしたいです。

▼商工会を通して所有者の方々と今後の方針を含め、お話ししていきたいと思えます。

◆夜の羽幌の街はすごく暗い感じがします。例えば災害等があったときに大変だなと感じます。

▼機会を見て全体を把握するところから進めていきます。

(情報発信について)

◆イベント等の情報をスマホで見ることができませんか。

▼現在は防災infoはぼろを通じて情報を発信しています。お持ちのスマホでアプリを入手していただくと、町からの様々な情報を受け取ることが出来ます。また、今日の町からの説明テーマのひとつであったLINEでも情報を発信していますので、有効に活用していただければと思います。

(防災について)

◆災害時の備蓄はどうなっていますか。

▼役場や中央公民館、小中学校、両島それぞれに、アルファ米やパン等の非常食、防寒対策の毛布やストーブ等を計画的に備蓄しています。最低二、三日は避難できる量を確保できています。

◆災害時、特定の避難所に人が集中した場合どうなりますか。

▼避難所は、市街地区でいいますと中央公民館や羽幌小学校、羽幌中学校、羽幌高校、総合体育館等があります。町全体が避難の対象となれば別ですが、窮屈な場所にはなるかもしれま

せんが、一定程度その場所での避難生活を送ることは可能であると思えます。

(排雪について)

◆排雪が中々されず、シーズン内に1回来るかどうかになっています。いつ排雪が来るかわからないため、この場所は大体何月の上旬ぐらいに排雪が入る等、冬を乗り切る見通しのようなものがほしいです。いちいち電話するのではなく、デジタルですぐにわかる方法はありませんか。

▼排雪の日については、今回初めて防災infoはぼろを使って排雪予定日を周知しました。しかし、大雪になるとどうしても除雪を優先することになりますので、それが二、三日続く日にはちがわず込みます。その辺りの細かい情報を周知できるかわかりませんが、排雪の実施予定日は周知していきたいと思えます。

お問い合わせ

地域振興課広報広聴係
☎681-7013(課直通)